

【ねらい】

- ① ボール遊びが得意な子もそうでない子も一緒に楽しむ。
- ② ボールに親しみ、ボールの習性を身体で覚える。
- ③ ボールを上から投げられるようになる。

【準備】

- ① よく弾む、当たっても痛くないボールをたくさん用意する。(ソフトバレーボールがおすすめ)
- ② 子どもたちが動き回れる大きさの、四角いコートを作る。

【進め方】

- ① 2チームに分かれてボールを当て合う。
- ② 当てられたら外野へ行く。
- ③ 相手チームの誰か一人をアウトにしたら復活できる。
- ④ チームの全員が当てられたら負け。
- ⑤ ボールは様子を見ながら、2個、3個と増やしていく。慣れてきたら、最初から各チーム2～3個持っていてもいい。

【援助のポイント】

- ① サイドラインの外野はなしにし、エンドラインのみにした方が低学年には理解しやすい。
- ② 外野の動くスペースを想定しておいた方が良い。
- ③ ボールを増やすタイミングは、子どもたちの様子をよく見て判断する。子どもたちのリクエストに応える形で増やしていてもいい。
- ④ ボールの数は、多ければ多いほどスピーディーな展開になり早く決着する。

【アレンジのアイデア】

- ① 展開が早いので、「3回当たったらアウト(3回当たたら内野に入れる)」などとする。
- ② さまざまな種類のボールを使ったり、ウレタン製のフライングディスクを混ぜたりする。
- ③ 子どもたちとともに「強い人(ボール投げが得意な人)は利き手と反対の手で投げる」などのルールを考える。

